

『語句』『文法』を鍛え、『読解力』を鍛える

- 事前課題：指定されたページの【要点の整理】を音読し、【確認問題】をノートに解いてくること。
※ 答えとなる単語や文だけを書くのではなく、問題文を含めた「問題・解答全体」を書いてきてください。
- 授業：各回のテーマごとに文法の解説・演習を行います。また、短文を用いて読解の基礎基本を学びます。
授業内で解いた問題で間違えてしまったものがあれば、問題番号に✓をつけておきましょう。
- 事後課題：指定されたページの問題・授業で✓をつけた問題をノートに解いてくること。
※ 課題の提出方法：授業前に机の上にノートを開いておくこと。先生が巡回して確認します。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム	事前課題	事後課題
① 進行形	p.2	解き直し
② There is[are]...	p.6	解き直し
③ 未来の文	p.10, 14	解き直し
④ 接続詞	p.18	解き直し
⑤ 重要な文型	p.22[確認問題]	解き直し
⑥ 不定詞	p.26	解き直し

「確実にできる」ことを増やす！

中学3年間の折り返しです。いままでに勉強した単元は、これからますます難しくなる数学の基礎・基本となるものです。特にこの講座で取り上げた比例・反比例、平面・空間図形(中1内容)や、連立方程式、一次関数はこれからの学習につながる大切な内容です。曖昧なまま先に進むことはできません。いまがラストチャンスです。「正解を導きだすための『道筋』を自分の財産にすること」を常に意識して講習に臨んでください。

授業では解き方(どんな考え方を使うのか、なぜその考え方を使うのか)を理解し、使えるようにすることが大切です。ただ、先生が黒板(ホワイトボード)に書くことを意味も考えずに写すという姿勢ではダメです。

授業後は、その授業や確認テストで解けなかった問題、間違えた問題をノートに書き直してください。なお、解答・解説を読んでも理解できなかった場合は、必ず、質問しましょう。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム	事前課題	事後課題
① 1.式の計算・方程式・比例の式	p.2	解き直し
② 2.平面図形・空間図形・データ	p.6	解き直し
③ 3.4.単項式・文字式利用	p.10,14	解き直し
④ 5.連立方程式	p.18	解き直し
⑤ 6.連立方程式の利用	p.22	解き直し
⑥ 7.関数	p.26	解き直し

【理科】

理科はいかに多くの単元を自分のものにするかにかかっています。今回は1年の復習と2年の1学期内容の演習をおこないます。履修内容を自分のものにしてください。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム	事前課題	事後課題
① 光・音・生物・大地の変動/化学変化 p.2~5, p8~p9	p.6,7	解き直し
② 2.3.化学変化 p12~p13, p14~p17, p18~p21	p.10,11	解き直し

【社会】

講習内容は、地理・歴史とも愛知県公立高校入試で頻出の分野です。1つ1つの語句を覚えるのはもちろん、関連する事柄をしっかりと結び付けていきましょう。今のうちに基礎を固めてライバルに差をつけましょう。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム	事前課題	事後課題
① 【地理】 ・世界・日本のすがたと世界の諸地域（復習） ・地域調査の手法、自然環境や人口の特色 ・資源や産業の特色 ・商業や交通・通信の特色	p.2,6	解き直し
② 【歴史】 ・文明のおこり～中世の歴史（復習） ・全国統一と江戸幕府の成立 ・幕府政治の改革と産業・文化	p.18, 22	解き直し

※ 第1講、第2講ともに、学校の進み方によって先生が指示を出します

【国語】

「なんとなく文章を読んで、なんとなく答える」から、「こう書いてあるから、こう答える」に変わらしましょう。国語は、文章の中に答えが書いてあります。きちんと読むことができれば、答えを導くことができるのです。問題を解く時には、「ここにこう書いてあるから、この答えを選んだ」と理由をつけて解答をしていきましょう。また、記述問題にも必ず挑戦してください。書かないことが絶対に無いようにしましょう。答え合わせの際は解説を良く読み、解答のルールをつかんでいきましょう。

今回の講習では、苦手な人も多い「論説文」の基礎的な読解法について学びます。一生使える知識が満載です。今後の国語の学習に役立てましょう。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム	事前課題	事後課題
① 論説文読解 指示語・接続語	p.4-5,8-9	
② 論説文読解 事実と意見	p.12-13	